

# ズバリ 町政を問う!

タイトル：熊野中学校2年 井原 紗菜さん

## 一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。  
発言時間は1人答弁含め、60分以内としています。

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質問者	質問事項
9	時光 良造 議員	1. 水害対策として、早急な河川の <sup>しゅんせつ</sup> 浚渫を 2. 通学路（避難路）のブロック塀の安全対策は
10	中島 数宜 議員	1. 災害から3年余りが経過した。災害復旧の進捗状況は 2. バス利用者駐車場が廃止された。代替え駐車場の計画は
11	水原 耕一 議員	1. 災害予防対策は 2. 住宅地に隣接する町管理でない森林の対応は
12	沖田 ゆかり 議員	1. 高齢者のごみ出し支援を 2. 女性の視点からの防災・復興を
13	福垣内 邦治 議員	1. 町施設における住民サービス・Wi-Fi 設置は
	荒瀧 穂積 議員	1. 三村町長の政治姿勢を問う

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。  
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。  
なお、熊野町議会のホームページ（<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>）から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。



時光 良造 議員

## Q 水害対策として、早急な河川の<sup>しゅんせつ</sup>浚渫を

A 建設農林部長

国の緊急浚渫推進事業の財源を活用して計画的に進めていく。

【Q1】

7月、8月の豪雨で復旧工事の完了した場所を含め越水が発生している。護岸のかさ上げが必要だと思いが。

【A1】

砂防指定地内の護岸改良は土石流対策としての実施となり難しい。堆積土撤去を計画していく。

【Q2】

初神・萩原・呉地区で豪雨の度に県道等の冠水が発生しているが今後の対策は。

【A2】

地元関係各所の皆様に状況を聞きながら調査を進め、県町連携して順次解消に向け取り組みを進めている。

【Q3】

町内の大規模盛土の調査と安全確認は。

【A3】

県において調査中で豪雨時には水防警戒班によるパトロールを実施している。

【Q4】

町内の砂防堰堤の土砂の堆積状況は。

【A4】

現在調査により把握している町内の砂防堰堤の状況は、異常に土砂が堆積している場所はない。

【Q5】

河川の護岸のかさ上げが難しいが、補正予算及び来年度予算で思い切った予算を組み、定期的な河川の浚渫をすべきと思うが。

【A5】

国の緊急浚渫推進事業を活用して計画的に取り組んでいきたい。

## Q 通学路（避難路）のブロック塀の安全対策は

A 建設農林部長

危険なブロック壁に対し撤去、改修の補助制度の創設に向け協議を進めていく。

【Q1】

学校を始め公共施設の危険性のあるブロック塀は撤去されているが、通学路に面するブロック塀の安全対策は。

【A1】

平成30年の大阪北部地震を受け、本町では通学路に関して緊急点検を実施し約200箇所基準に満たないブロック塀を確認し、所有者に安全対策を案内している。

【Q2】

どのような内容で何箇所の所有者に案内をしたのか。

【A2】

25箇所所有者に対し、目視によるひび割れや傾きの健全度合等の点検結果を記載した「安全点検のお願い」と点検を啓発するパンフレットを配付した。

【Q3】

国は避難路、通学路

ブロック塀撤去事業等補助金制度を定めているが、その内容と近隣市町の制度活用状況は。

【A3】

所有者が実施する耐震診断、除却、改修等に伴う費用の一部について、国が1/3、市町村1/3となっており、自己負担が1/3で限度額は1mあたり8万円となっている。県内においては23市町中12市町が制度を創設している。

【Q4】

当町においても制度を活用すべきでは。

【A4】

補助制度の創設に向け研究、財源の確保等協議を進めていく。



▲ 危険なブロック塀